

茨城県立鹿島灘高等学校

FLEX SCHOOL GUIDE 2022



みんなが主役。

みんなを輝かせる。

新しい高校生活を起動しよう。

鹿島灘高等学校は、鹿行地区で唯一の「フレックススクール」（定時制・普通科）です。
本校では、午前部・午後部・夜間部の三部から、自分の生活スタイルや通学・就学条件に合わせて、自分の通学する部を選ぶことができます。
鹿島灘高等学校「フレックススクール」で、新しい高校生活を始めましょう。
そして、自分の可能性を探し、夢を叶えましょう。

校　訓

自　立　**よりよい生き方を目指し、自ら考え、自ら判断し、自ら行動できる力を育成する。**

協　学　**人と出会い、学び合うことにより、互いのよさを伸ばす。**

創　造　**柔軟な発想や思考により、創意工夫しようとする力を養う。**

生徒会長挨拶



3年次午前部
冨山 竜哉

フレックススクールの鹿島灘高校では、私たち個性豊かな生徒が、自分に合った高校生活を過ごしています。

今まで学校生活をうまく送れていなかった人、勉強を基礎からやり直したい人など、新しい自分を見つけるためにうってつけな学校がここ鹿島灘高校です。

先生方も優しい方ばかりで、生徒一人ひとりが輝けるチャンスを考えてくれます。クラスマッチ、灘潮祭、委員会活動、部活動など多人数の中に埋もれてしまう状況でも全生徒が主役になれるような企画や行事があります。私も輝けるチャンスだと思い、生徒会に入りました。

例えどんなにつらいことがあっても、鹿島灘高校ではきっと乗り越えることができるはずです。そして、楽しいスクールライフを過ごすことができます。

皆さんもぜひ鹿島灘高校へ入学しませんか。

生徒の声



2年次午前部
菅 翔舞

僕は鹿島灘高校に入学してから、勉強、部活に特に力を入れています。少人数の授業で知識を深く学ぶことや、部活動での技能向上、仲間との多様なコミュニケーションを通して、自分の夢に向かって毎日頑張っています！！



2年次午前部
米川 彩音

鹿島灘高校はクラスが少人数なことと、先生方が優しくサポートしてくれることもあり、いろいろなことに挑戦ができる学校だと思います。入学時には苦手だった体育の授業も、一年間で様々なことに挑戦できたので、今では楽しみな授業の一つになっています。



2年次午後部
荒沼 晃介

私はバスケットボール部に所属しています。部活はいつも元気で賑やかです。みんな楽しく真面目にやっています。また授業では、「ハートウォーミンググループワーク」が毎時間楽しく、待ち遠しかったです。



3年次午後部
藤井 幸泰

鹿島灘高校に入学して良かったことが二つあります。一つ目は授業です。一人ひとりに合った授業をしてくださり、先生方も優しいです。二つ目は友達との出会いです。沢山の友達が出来ました。鹿島灘高校は、先生や生徒がお互いに話しやすい環境なのでとても楽しい高校生活を送っています。



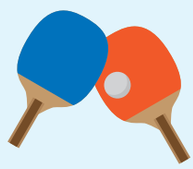
4年次午後部
鈴木 雄太

この学校はフレックススクールであるため、自分の生活リズムに合った無理のない学校生活を送ることができます。また、学校行事が充実していて、文化祭である「灘潮祭」ではクラス全員で協力し、皆でひとつのものを作り上げていく愉しさを味わうことができます。皆さんもこの鹿島灘高等学校に入学した時には全力で楽しんでください。



2年次午前部
大宮 智希

生徒数が少ない分、先輩後輩の仲が良いのが鹿島灘高校の特徴です！僕の所属する卓球部も少人数ですが、学年関係なく仲良く楽しく活動しています。新入部員まっています！





2年次午後部
山野 帆乃香

入学する前は、授業についていけるか不安でした。しかし入学すると、一人ひとりが分かるまで、基礎から丁寧に先生が教えてくれるので勉強が苦手でも大丈夫でした。今はとても楽しく、剣道部もがんばっています。



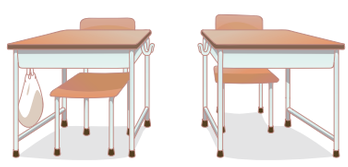
3年次午前部
横田 風吹

私がこの鹿島灘高等学校を知ったきっかけは母でした。また三部制という部分に魅力を感じ入学を決めました。入学をしてからは生徒会に入り、様々な行事に参加しています。授業は少人数で、先生に質問しやすい環境なので、安心して授業を受けることが出来ます。学校での服装を自由に選択でき、鹿島灘高校にしかない魅力が沢山あります。



3年次夜間部
高橋 晃矢

私は中学校で不登校になりました。学校がとても遠いものに感じていましたが、家族から夜間部の存在を教えてもらい、夜間の学校であれば自分でも学校に行けるのではないかと思い入学しました。優しいクラスメイトのお陰で今ではすっかり学校が好きになりました。今学校が嫌いでも、鹿島灘高校の夜間部に来れば、学校に対する考え方も、変わるかもしれません。



標準服



標準服は行事や集会、定期考査等で着用します。
女子は、スカート/スラックスから選べます。
平日は私服も含めTPOに合わせて着こなしができます。

みんなが「輝く」学びの場

―― 一人ひとりの学びをサポート ――

KASHIMANADAプラン

1．わかる授業

数学、英語は習熟度別で実施。ゆっくりと学びなおしをすることができます。

2．ICTの活用

普通教室に電子黒板を設置。Wi-Fi環境が整備され、タブレット端末を活用した授業を行います。（令和３年度の１年次生より）

3．年間５回の面談期間

細かく面談を行うことで、生徒・保護者・教員との連携を密にします。安心して学校に通うことができます。

＊保護者との面談は夏季休業中に実施します。必要に応じて期間外にも個別に対応いたします。

4．生徒に寄り添うカウンセリング体制

茨城大学から派遣されるキャンパスエイドや本校を熟知されたスクールカウンセラーによるカウンセリング。

5．授業公開

全教科で授業公開を実施。教員相互で参観することで、授業力の向上を図っています。







三部制・単位制のシステム

単位制は、多様な科目選択が可能で、3年以上在籍し74単位以上修得すると卒業できます。

日課表

3年間(三修)で卒業(三卒)を希望する場合、
●の部分の授業(他部履修)を受けます。

		午前部	午後部	夜間部
1時限	9:00 ～ 9:45			
2時限	9:55 ～ 10:40			
3時限	10:50 ～ 11:35		●	
4時限	11:45 ～ 12:30		●	
昼休み	12:30 ～ 13:15			
SHR/清掃	13:15 ～ 13:30			
5時限	13:30 ～ 14:15	●		
6時限	14:25 ～ 15:10	●		
7時限	15:20 ～ 16:05			●
8時限	16:15 ～ 17:00			●
給食	16:50 ～ 17:35			
9時限	17:35 ～ 18:20			
10時限	18:25 ～ 19:10			
SHR/清掃	19:10 ～ 19:15			
11時限	19:15 ～ 20:00			
12時限	20:05 ～ 20:50			

午前部・午後部・夜間部の選択は、学力検査出願時にします。入学後に変更はできません。

一人ひとりに合わせた時間割

午前部　三修三卒希望の1年次

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1限目	現代社会	国語総合	保健	コミュニケーション英語Ⅰ	「道徳」
2限目	国語総合	コミュニケーション英語Ⅰ	心理学	現代社会	L・H・R
3限目	数学Ⅰ	家庭基礎	社会と情報	体育	科学と人間生活
4限目	数学Ⅰ	社会と情報	体育	家庭基礎	科学と人間生活
5限目	楽しい和太鼓	コミュニケーション英語Ⅰ	数学Ⅰ	国語総合	美術Ⅰ
6限目	楽しい和太鼓	数学Ⅰ	国語総合	コミュニケーション英語Ⅰ	美術Ⅰ

午後部　三修三卒希望の2年次

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
3限目	美術Ⅱ	英語表現Ⅰ	電卓演習	国語表現	数学A
4限目	美術Ⅱ	電卓演習	国語表現	英語表現Ⅰ	数学A
5限目	世界史A	物理基礎	保健	実用の書	読み書き演習
6限目	世界史A	体育	実用の書	物理基礎	読み書き演習
7限目	生物基礎	地理A	体育	化学基礎	L・H・R
8限目	化学基礎	生物基礎	地理A	体育	産業社会と私たち

夜間部　四修四卒希望の3年次

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9限目	日本史A	生物基礎	数学Ⅱ	フードデザイン	基礎からの英語
10限目	生物基礎	基礎からの英語	日本史A	フードデザイン	数学Ⅱ
11限目	数学A	体育	国語表現	英語表現Ⅰ	L・H・R
12限目	英語表現Ⅰ	国語表現	数学A	体育	生き抜く力~社会人の教養~

みんなが持つ「夢」を応援

進路について考える機会や行事が一年間にたくさん計画されています。産業社会実習やものつくり体験プログラムは単位として認定されます。

産業社会実習、ものつくり体験プログラム




産業社会実習




ものつくり体験プログラム

職場学校見学会、進路ガイダンス、キャリア教育セミナー




進路ガイダンス



キャリア教育セミナー





職場学校見学会

一般常識テスト、模擬試験の実施




みんなの「気持ち」を優しくサポート

生徒に寄り添う教育相談体制

ハートウォーミンググループワーク



対人コミュニケーションスキルについて体験しながら学びます。

心　理　学



必履修科目。高校生にとって必要な心理学の知識を学習します。

フリースペース・多目的室



フリースペース

多目的室



教室の他にもリラックスできる場所があります。

キャンパスエイド

生徒の皆さんをサポートするために茨城大学より派遣されます。皆さんのお兄さん、お姉さんのような存在で、日々の悩みや辛いことなどなんでも気軽に相談してください。



カウンセリング

日々の生活で悩んだり不安になったりすることがあるかもしれません。一人で抱えると辛くなることもあります。そんな時はぜひ相談してください。一緒に考えましょう。

先生方もサポート



スクールカウンセラー
中山先生



カウンセリングコーディネーター
山田先生



茨城大学教育学部副学部長 教授
三輪先生

みんなが「挑戦」多彩な部活動

運　動　部

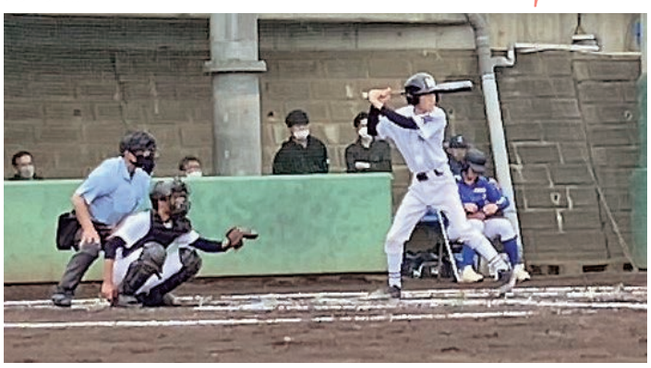
- 野球
- 卓球
- 剣道
- 柔道
- バスケットボール
- サッカー
- バドミントン
- 陸上競技
- バレーボール
- ソフトテニス

文　化　部

- 文芸
- 書道
- マルチメディア
- NLC
- 和太鼓
- Light Music



野球部



バレーボール部



柔道部



バスケットボール部



陸上競技部



卓球部



剣道部



バドミントン部



サッカー部



和太鼓部



Light Music部



文芸部



マルチメディア部



書道部



NLC部



みんなが「主役」学校行事

充実のスクールライフ。イベントも盛りだくさんの1年間。

4 April
- 始業式・新任式
- 入学式
- 対面式・離任式
- 第1回 生徒個別面談
- 1年次 第1回グループワーク
- 生徒評議会

5 May
- 1年次 第1回 第2回 花いっぱい運動
- 3年次 修学旅行
- 清掃ボランティア
- 1年次 第2回グループワーク
- 定通野球大会
- 3・4年次 進路ガイダンス
- 第1回 定期考査

6 June
- 定通体育大会
- 第2回 生徒個別面談
- ものつくり体験
- 1年次 第3回 グループワーク
- クラスマッチ

7 July
- 3・4年次 面接指導
- 1年次 第4回 グループワーク
- 第2回 定期考査
- 閉講式
- 夏季休業

8 August
- 全国定通体育大会

9 September
- 開講式
- 第3回 生徒個別面談
- 進路ガイダンス・進路講話
- 1年次 第5回 グループワーク
- 1年次 第3回 花いっぱい運動
- 前期終業式

10 October
- 始業式
- 第4回 生徒個別面談
- 秋季定通体育大会
- 1年次 第6回 グループワーク
- 第3回 定期考査
- 創立記念日

11 November
- 1年次 第7回 グループワーク
- 産業社会実習
- 灘潮祭（文化祭）
- 1・2年次 職場学校見学会

12 December
- 校外体験学習
- 1年次 第8回 グループワーク
- 閉講式

1 January
- 開講式
- 第5回 生徒個別面談
- 1年次 第9回 グループワーク
- 第4回 定期考査

2 February
- 1・2年次 キャリア教育セミナー
- 1年次 第10回グループワーク
- 卒業生講話

3 March
- 卒業式
- 学力検査
- 転編入学試験
- 修了式


入学式


花いっぱい運動



1・2年次 職場学校見学会


灘潮祭


校外体験学習


卒業式

フレックススクール Q&A

Q1 「フレックススクール」って何ですか。

A フレックススクールとは、定時制・多部制の学校のことです。本校では午前部・午後部・夜間部の三部があります。

Q2 全日制高校との違いはありますか。

A 午前部・午後部・夜間部の中から、自分のライフスタイルに合う部を選ぶことができるのが大きな違いです。授業時間は、45分です。

Q3 三年間で卒業できますか。

A 自分の在籍する部以外の授業を履修（これを他部履修と言います）して、３年間で74単位以上修得すれば卒業できます。

Q4 施設はどうなっていますか。

A 普通教室にエアコンが完備されています。夏は涼しく、冬は暖かい環境で学習することができます。Wi-Fiや電子黒板も導入され、授業で活用されています。

Q5 どのような授業がありますか。

A 全日制高校と同じ授業の他に、「楽しい和太鼓」・「ふれあい陶芸」・「ニーハオ中国語」など本校独自の特色ある授業も行われています。


楽しい和太鼓


ふれあい陶芸


ニーハオ中国語

Q6 部活動はどのような活動がありますか。

A 運動部は、定時制・通信制の学校が参加する定通大会に出場します。文化部は総文祭をはじめそれぞれの大会、展覧会に出場・出品します。

MAP（地図）



拡大MAP（地図）



Flex School Kashimanada

茨城県立鹿島灘高等学校

〒311-2207 茨城県鹿嶋市大字志崎121番地
Tel.0299-69-2511　Fax.0299-69-5917
http://www.kashimanada-h.ibk.ed.jp